



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社  
 コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 奥村英夫  
 (氏名) 菅原 勲

TEL 03-6418-4391

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	444	△10.0	14	△65.1	2	△96.8	△9	—
25年3月期第2四半期	494	5.7	42	29.2	64	6.7	48	△3.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2百万円 (△95.8%) 25年3月期第2四半期 59百万円 (3.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△0.13	—
25年3月期第2四半期	0.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5,461		3,863		66.0		46.04	
25年3月期	4,800		3,863		75.3		46.17	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,604百万円 25年3月期 3,614百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	830	△10.5	2	△95.6	△20	—	△30	—	△0.38

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) - 、 除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	78,317,466 株	25年3月期	78,317,466 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	32,032 株	25年3月期	32,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	78,285,434 株	25年3月期2Q	71,145,984 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融・財政政策を背景に企業業績や個人消費が一部改善するなど、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、不動産事業では、港区西麻布のテナントビルの安定した賃料収入を得ることができましたが、平成24年11月に世田谷区代沢のテナントビルを売却したことや、平成25年9月下旬に温浴施設建設のため新宿区歌舞伎町の駐車場運営を終了したことなどにより、前年と比べ収入が減少しました。その結果、売上高は前年同四半期に比べ20.6%減少し9千6百万円、営業利益は前年同四半期に比べ25.5%減少し7千万円となりました。

繊維事業では、大手ブランドや既存取引先の継続受注の確保のため、迅速な対応及び安定した納期管理に努めました。特にレースアイテムの素材、夏物現物、セール用別注の受注が好調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ86.1%増加し3千6百万円、営業利益は2百万円（前年同四半期は営業損失3百万円）となりました。

化粧品事業では、新規OEM受注先の開拓に取り組み、ホテル向けアメニティ商品の受注が増えたものの、大きな成果を得ることはできず、売上高は前年同四半期に比べ31.6%減少し1億2千4百万円となりました。しかしながら、貸倒引当金繰入額が4百万円減少したことなどにより、営業利益は0.8百万円（前年同四半期は営業損失2百万円）となりました。

ゴルフ場事業では、伊豆スカイラインカントリー倶楽部にて、8月は猛暑、9月は悪天候の影響を受けましたが、4月から7月までの来場者数が前年を上回ったこと、新規会員を獲得できたことなどにより、売上高は前年同四半期に比べ9.5%増加し1億8千7百万円、営業利益は前年同四半期に比べ13.9%増加し2千8百万円となりました。

なお、平成25年9月下旬に、新宿区歌舞伎町の温浴施設建設資金の一部として金融機関から融資を受けた際の登記費用として6百万円、融資実行手数料として19百万円を支払い、港区西麻布ビル住宅部分の購入等の資金として金融機関から融資を受けた際の登記費用として3百万円を支払いました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は4億4千4百万円（前年同四半期比10.0%減）、営業利益は1千4百万円（前年同四半期比65.1%減）、経常利益は2百万円（前年同四半期比96.8%減）、四半期純損失9百万円（前年同四半期は四半期純利益4千8百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、港区西麻布の建物取得などにより前連結会計年度末と比較して6億6千万円増加し、54億6千1百万円となりました。負債は、長期借入金の増加などにより前連結会計年度末と比較して6億6千万円増加し、15億9千7百万円となりました。純資産は、利益剰余金は減少したものの少数株主持分が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して0.8百万円増加し、38億6千3百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、5千4百万円減少し、11億9千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、2千9百万円（前年同四半期は3千6百万円の獲得）となりました。これは、主にたな卸資産の減少や利息及び配当金の受取額であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、7億4千1百万円（前年同四半期は6百万円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出や差入保証金の差入による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、6億5千7百万円（前年同四半期は1千3百万円の使用）となりました。これは、主に長期借入れによる収入であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日公表の「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の予想値と決算値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,248,917	1,193,966
受取手形及び売掛金	97,602	107,454
商品及び製品	11,402	13,276
仕掛品	2,671	1,190
原材料及び貯蔵品	37,426	34,030
販売用不動産	305,160	304,872
短期貸付金	282,532	32,285
その他	45,054	29,098
貸倒引当金	△6,345	△3,532
流動資産合計	2,024,422	1,712,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	185,333	280,755
機械装置及び運搬具（純額）	37,710	37,715
工具、器具及び備品（純額）	14,857	13,154
コース勘定	362,224	362,224
土地	2,092,241	2,278,075
建設仮勘定	53,242	513,013
有形固定資産合計	2,745,610	3,484,938
無形固定資産		
のれん	11,702	9,362
借地権	—	83,445
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウェア	360	296
無形固定資産合計	14,149	95,190
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	28,606	177,864
貸倒引当金	△12,515	△9,380
投資その他の資産合計	16,691	169,084
固定資産合計	2,776,450	3,749,213
資産合計	4,800,873	5,461,856

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,851	13,162
1年内返済予定の長期借入金	26,714	64,188
未払法人税等	12,592	4,965
未払金	16,936	17,569
その他	54,191	66,880
流動負債合計	129,285	166,765
固定負債		
長期借入金	281,554	903,888
資産除去債務	2,789	2,821
再評価に係る繰延税金負債	46,331	45,882
長期預り金	442,813	441,213
その他	34,970	37,324
固定負債合計	808,458	1,431,129
負債合計	937,744	1,597,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,374,765	3,374,765
資本剰余金	149,940	149,940
利益剰余金	7,979	△1,072
自己株式	△2,076	△2,076
株主資本合計	3,530,608	3,521,556
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	83,667	82,856
その他の包括利益累計額合計	83,667	82,856
新株予約権	6,211	6,211
少数株主持分	242,641	253,335
純資産合計	3,863,128	3,863,960
負債純資産合計	4,800,873	5,461,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	494,175	444,511
売上原価	300,297	275,194
売上総利益	193,877	169,316
販売費及び一般管理費	151,646	154,576
営業利益	42,231	14,740
営業外収益		
受取利息	22,216	2,788
受取配当金	11	9
有償見本	1,320	7,027
その他	5,957	7,569
営業外収益合計	29,505	17,395
営業外費用		
支払利息	4,570	4,585
減価償却費	730	686
有償見本費用	1,165	5,333
支払手数料	—	19,047
その他	729	430
営業外費用合計	7,195	30,084
経常利益	64,541	2,051
特別利益		
負ののれん発生益	—	540
固定資産売却益	156	—
債務免除益	—	2,000
特別利益合計	156	2,540
特別損失		
固定資産除却損	171	0
減損損失	—	1,260
事務所移転費用	—	168
特別損失合計	171	1,428
税金等調整前四半期純利益	64,526	3,163
法人税、住民税及び事業税	4,946	1,128
法人税等調整額	△12	△461
法人税等合計	4,934	666
少数株主損益調整前四半期純利益	59,592	2,497
少数株主利益	10,723	12,359
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,868	△9,862

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,592	2,497
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	59,592	2,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,868	△9,862
少数株主に係る四半期包括利益	10,723	12,359



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	64,526	3,163
減価償却費	20,637	19,945
のれん償却額	2,340	2,340
減損損失	—	1,260
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	585	△5,947
受取利息及び受取配当金	△22,227	△2,797
支払利息	4,570	4,585
有形固定資産売却損益 (△は益)	△156	—
有形固定資産除却損	171	0
負ののれん発生益	—	△540
売上債権の増減額 (△は増加)	28,005	△9,852
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,898	3,291
仕入債務の増減額 (△は減少)	933	△5,689
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7,915	△1,724
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△5,326
長期預り金の増減額 (△は減少)	△29	△1,600
その他の資産の増減額 (△は増加)	△31,059	23,415
その他の負債の増減額 (△は減少)	△24,154	16,580
小計	24,330	41,104
利息及び配当金の受取額	22,224	2,369
利息の支払額	△4,543	△5,949
法人税等の支払額	△5,300	△8,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,710	29,054
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,330	△757,658
有形固定資産の売却による収入	285	—
無形固定資産の取得による支出	—	△83,445
子会社株式の取得による支出	—	△1,125
貸付金の回収による収入	7,857	250,247
差入保証金の差入による支出	—	△150,000
差入保証金の回収による収入	28	400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,158	△741,581
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	674,000
長期借入金の返済による支出	△12,522	△14,192
リース債務の返済による支出	△759	△2,231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,281	657,576
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,270	△54,951
現金及び現金同等物の期首残高	737,050	1,248,917
現金及び現金同等物の四半期末残高	754,320	1,193,966

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 (千円)	繊維 (千円)	化粧品 (千円)	ゴルフ場 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	121,495	19,396	182,024	171,257	494,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	322	—	322
計	121,495	19,396	182,347	171,257	494,497
セグメント利益又は損失(△)	94,275	△3,306	△2,225	25,207	113,951

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	113,951
のれんの償却額	△2,340
全社費用(注)	△69,379
四半期連結損益計算書の営業利益	42,231

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 (千円)	繊維 (千円)	化粧品 (千円)	ゴルフ場 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	96,508	36,096	124,459	187,446	444,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	96,508	36,096	124,459	187,446	444,511
セグメント利益	70,279	2,812	835	28,711	102,638

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「不動産」で821,787千円増加しております。

これは主に、東京都新宿区に建設中の温浴施設の建設費用の一部を支払ったことによる「建設仮勘定」の増加や従来から区分所有している東京都港区の西麻布ビルの住居部分を新たに取得したことによる「建物」、「土地」及び「借地権」の増加によるものであります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	102,638
のれんの償却額	△2,340
全社費用(注)	△85,557
四半期連結損益計算書の営業利益	14,740

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに含まれない全社資産である遊休資産において、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,260千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「ゴルフ場」セグメントにおいて平成25年8月22日に、子会社である伊豆スカイラインカンントリー株式会社の株式を追加取得いたしました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては540千円であります。